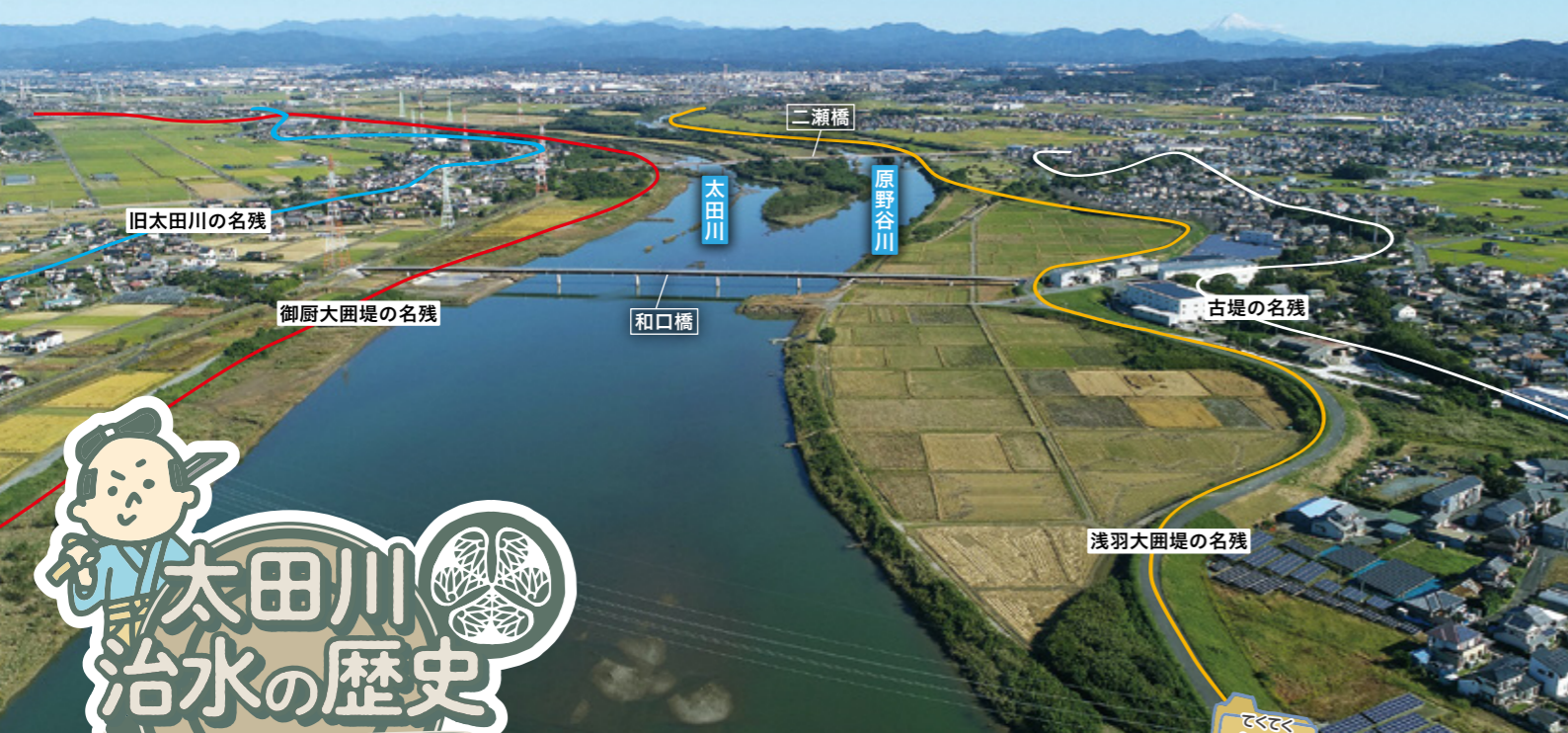


# てくてく太田川

第22号  
2023  
令和5年3月1日  
発行部数 131,000部



## 太田川治水の歴史

SPECIAL FEATURE

### 大人の社会科見学

#### 二つの川の合流と大囲堤の築堤

太田川水系の河川改修の歴史は、戦国時代にさかのぼります。当時の太田川・原野谷川は発達した砂洲に阻まれ、遠州灘に直接流れ込んでいました。旧太田川は、現在の今ノ浦川と仿僧川の川筋の流れ、旧原野谷川は高低差のほとんどない袋井市の平野部を蛇行して流れていました。二つの川はたびたび洪水を引き起こし、付近には大きな池や湿地帯が広がっていました。

この湿地帯への新田開発が、戦国大名の今川氏によって16世紀中頃から始められ、その時に原野谷川に沿って堤防が造られました。それが「古堤」です。

その後幕府を開いた徳川家康は、江戸・京都間の安定した物資や人の往来を目的に、東海道を整備します。湿地帯であったこの地の整備は、当時の最重要課題であったといえます。そこで白羽の矢が立ったのが幕府代官頭として治水や新田開発に手腕を発揮していた伊奈忠次で、太田川と原野谷川を合流させて一本の「太田川」とし、遠州灘まで流す大工事を行ったのです。

この工事の際に出た土砂で、新しい川筋に沿って堤防が築かれました。太田川の東側は「浅羽大囲堤」、西側は「御厨大囲堤」と呼ばれました。

現在は、田畑の整備等によってほとんど消滅しているそうですが、当時の堤の上には新たな堤防が築かれ、一部ではその名残を確認することができます。

太田川流域に住む人々の生活は、河川改修の歴史の上に成り立っているのだといえることがわかりました。



▲江戸時代に描かれた絵図 (提供: 袋井市郷土資料館 一部加筆)

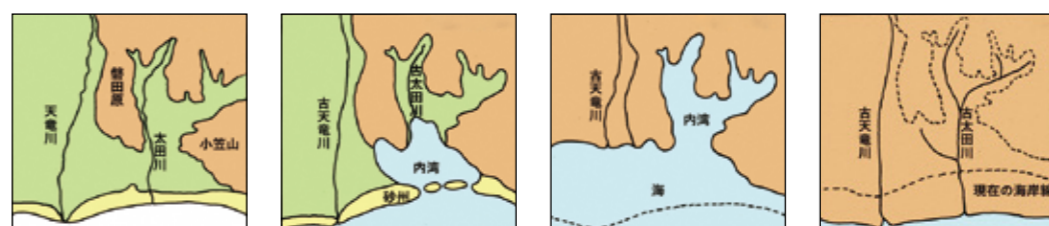


▲戦国時代の復元図

浅羽低地は浅羽荘と呼ばれた鎌倉時代から治水が行われていた中畦堤土地でした。



大石佳典



①約二万年前  
氷河時代は、海面が約1200mも下がりました。このため、海岸線が現在の位置から沖に遠ざかって、古天竜川、古太田川の深い谷がささまれました。

②約六千年前  
氷河時代が終わり、縄文時代に入ると、気温が上がって氷が溶けました。このため海面が約4mも上がり、海水が平野の奥まで侵入してきました。

③約四千年前  
海水面は現在のようになりました。太田川の河口は、天竜川の押し流す砂によって、幅広い砂州が内湾の入り口をふさぎ、現在の浜名湖のような入江になりました。

④現在  
やがて入江の入口は閉じ、淡水の湖の状態が長く続きました。そして、周囲からの砂泥が流れ込み、水域が埋め立てられて現在の平野になったのです。

昭和19年東南海地震の教訓(1984年)より引用

### 太田川低地の成り立ち

太田川の低地は、どのようにできたのでしょうか。

第9回 青島晃の地質学講座

磐田南高等学校 青島晃

### 台風15号の爪痕

令和4年9月23日から24日にかけて静岡県に襲来した台風15号は、静岡県中西部地域を中心に甚大な被害をもたらしました。太田川流域においても、河川の増水に伴い堤防が削り取られる「洗掘」がいたるところで確認され、一部地域では、堤防が欠壊し、浸水等の被害が発生しました。

袋井土木事務所では、台風が過ぎ去った翌日から現地調査を行い、発災から3日後の27日には更なる被害の防止や背後地の保護を目的に大型土のう等を用いた仮復旧工事に着手しました。12月には、国土交通省と財務省の職員が現地の被災状況を確認し復旧予算を決定する災害査定を行いました。現在は、早期復旧に向けて災害査定で決定した内容をもとに、護岸工事等の本復旧工事に順次取り掛かっています。

袋井土木事務所 河川改良課 池本 紘太

▲被災の様子(周智郡森町)  
▲仮復旧後(周智郡森町)

### 愛の鐘

「愛の鐘」は、袋井市の「愛野公園」の丘の上にあるモニュメントなんです。南アルプスの山々や富士山も望めるロケーションにあり、パワースポットとして多くの人から愛されているそうです。この鐘なんと、鳴らすことができるんですよ。

皆さん、幸せを願ってこの鐘を鳴らしてみませんか。そして、ここで唄ってみては…

「やさしさや、いたわりや、ふれあう事を…」  
…あの鐘を鳴らすのはあなた〜」(笑)

野中 大輔

### 応急復旧作業

令和4年、台風15号により県内各地で甚大な被害が出ました。地域の建設業者は、官公庁と建設業協会・組合をかりて災害協定を結んでいる事が多く、今回も官公庁より出動要請があり、道路や河川で発生した災害に対して応急復旧作業を行いました。静岡県より、作業中の工事を止めて応急復旧作業を優先するよう指示が出ていましたが、災害件数に対して作業員数も足りず、復旧スピードには限界があり多くの時間を要しました。

最近「〇年に一度の災害」とよく耳にします。「地域を守る」のも建設業の使命です。これからも、この仕事にやりがいを感じ、少しでも多くの若者が興味を持つ、必要不可欠な業種でありたいと思います。

武藤 君幸

▲被災現場(掛川市)  
▲応急復旧作業の様子(掛川市)

### 2023てくてく太田川ものしりクイズ

図書カードが当たる!!

江戸時代に太田川と合流させた河川の名前は?  
①原野谷川 ②今ノ浦川 ③逆川

正解を応募いただいた方の中から図書カード3,000円分を抽選で10名の方にプレゼント!ふるって応募ください!

【応募方法】上記QRコードからWEBで回答または電子メール、FAX、官製ハガキのいずれかの方法で、必要記載事項をご記入のうえ応募してください。  
応募先は、右記の静岡県袋井土木事務所 河川改良課「ものしりクイズ応募係」まで

【記入事項】①クイズのこたえ ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤職業 ⑥電話番号 ⑦「てくてく太田川」第22号」をどこで入手しましたか?  
・新聞読み込み・回覧板・公共施設・観光施設・その他(場所を記載) ⑧第22号を読んで新たな発見や感想等

【応募締切】2023年5月31日 当日消印有効

【当選発表】当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報につきましては、管理責任者を定め、紛失や漏洩が発生しないように努めます。また、上記の利用目的のみに使用し、第三者に提供することはありません。

### 編集局員を募集しています!

編集会議では、新しい出会いや知識共有の場を提供します!! 磐田市、袋井市、掛川市、森町にお住まいの方、編集会議に参加しませんか?

てくてく太田川のバックナンバーはこちらから

発行日 2023年3月1日  
発行者 静岡県袋井土木事務所  
〒437-0042 袋井市山名町2番1号  
TEL 0538-42-3289 FAX 0538-43-0919  
E-mail: fukudo-kasen@pref.shizuoka.lg.jp  
URL: http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki/fukuroi/

編集 太田川情報編集局 袋井土木事務所 河川改良課内  
編集局員 磐田市 青島 晃 安間美恵子 大石佳典  
袋井市 浅羽俊光 池本 紘太 石代 隆 鈴木敦子 鈴木恭平  
鈴木仁美 鈴木 親宏  
掛川市 安藤 凱夫 鈴木健太 野中 大輔 武藤 君幸  
森町 岡庭 彩 辻 克美

ブログ・Facebook もやっています!!

てくてく太田川 検索

# 太田川 治水の歴史

太田川が現在の姿になったのは、洪水などによる自然変化だけではなく、江戸時代に行われた伊奈忠次の大工事に始まり、人間による様々な取り組みがあった結果でした。



伊奈忠次 銅像  
茨城県水戸市にある伊奈忠次銅像。忠次はたくさんの功績を残したが、代表的なものに治水がある。

## PICK UP 徳川家康と伊奈忠次

伊奈忠次は、一五五〇年に三河の国に生まれました。徳川家康に仕え、豊臣秀吉から家康が関東への国替えを命じられると、江戸を拠点とすることを進言しました。

忠次は家康が抱えた代官の中で四本の指に入る大代官で、官頭と呼ばれました。代官頭として検地(土地の広さや米の取れ高を調べる)、灌漑(水路を作って田畑に必要な水を引き、土地をうるおす)、治水、新田開発に手腕を発揮し、徳川家の財政の安定と関東支配の整備に大きな貢献を果たしました。

## 治水で使われた高い土木技術とは？

伊奈忠次が手腕を活かして実施した治水事業は、わずかな人々しか住むことができず、ただ沼地が広がっている状況だった海岸平野を蛇行して流れる東側の原野谷川と、その西側を流れていた太田川を合流させて遠州灘に注ぎこむよう川筋を付け替え、新しく掘った川筋の土砂を利用して大規模な堤防を築いた中に村を造る(輪中)という壮大なものでした。堤防の所々には排水を行い、外から入る水を防ぐ水門が造られ、この技術は、当時としてはかなり高い土木技術であったといえます。工事に伴って溜まっていた悪水は海に流れるようになり、付近には村ができて農作物が育つ豊かな土地となりました。



▲水門 (ジオラマ)

## オイカワ



辻 克美

ハヤ・ハエ・ハイ・シラハエなど数多くの地方名を持つ身近な魚で太田川水系にも多く生息しています。釣りの対象で子供たちの入門魚として是非とも挑戦してほしい小魚で、いろいろな漁法があり最近ではフライフィッシングでも釣られるそうです。甘露煮や唐揚げ、てんぷら、南蛮漬けなどの食用にされるそうですが、私の記憶では、小さいころ焼いて食べましたが、鱗と骨が気になりおいしかったという思い出は…ないですね。小さな支流にもいるので、ぜひ探してみてください。他の魚と見分けられら、あなたも、さかなクンに近づけるかも…。



▲オイカワ

## 河川の妖怪



鈴木健太



▲原野谷川沿いの様子



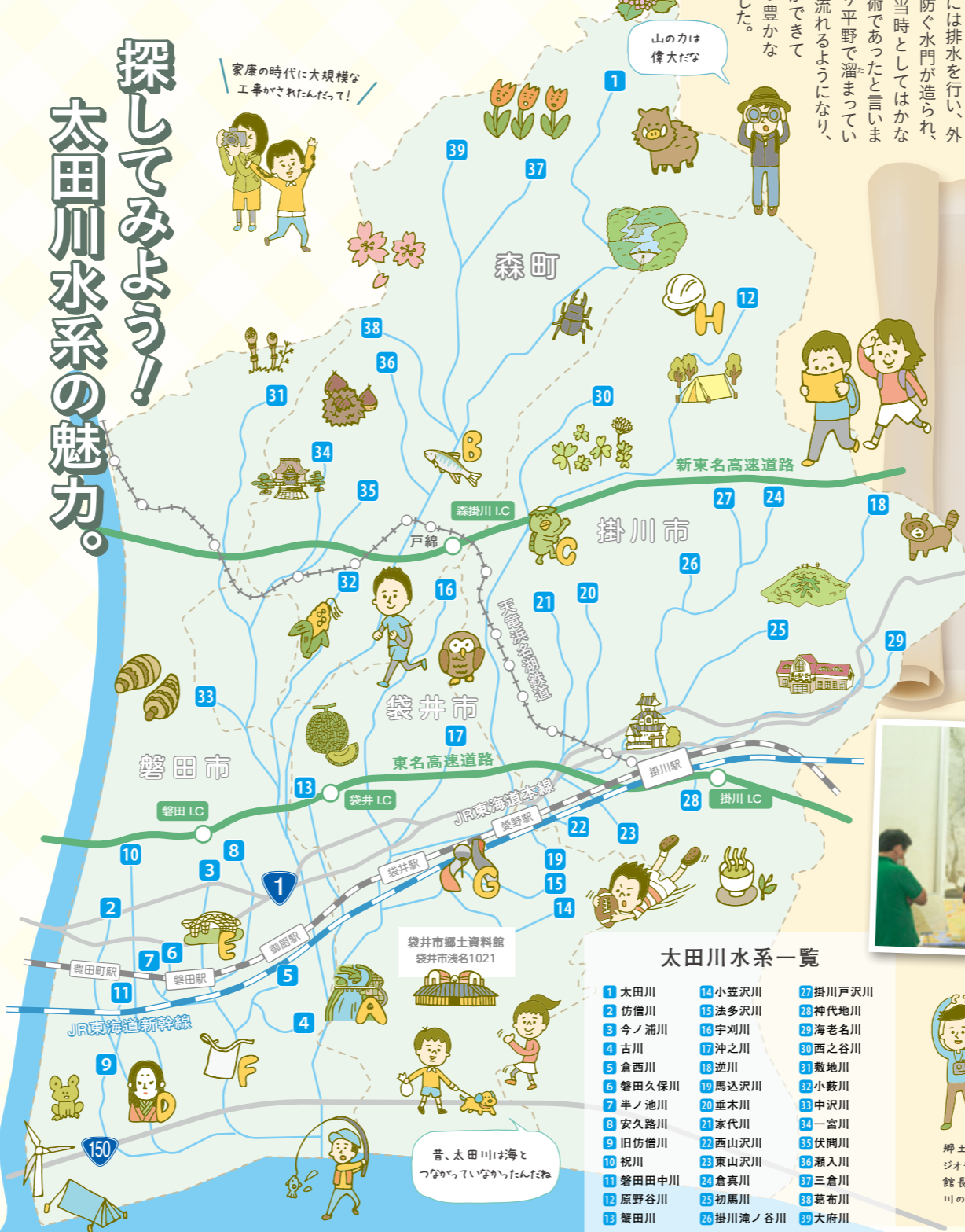
▲ひょっとして妖怪?

数台のタンクが目の前を横切り、原野谷川沿いへ下りて行った。勢い残した土埃に目を細める。河川ではシベルカーなどが黙々と動いていて、技術が技術と呼ばれていない遙か昔、河川にまつわる民間伝承に河童や鬼がよく登場する。最近の研究から山間地域の一部で呼ばれた「鬼」とは鉦山師を指し、また河童は河原に住んでいた川小僧ではないかと指摘されている。彼らは平野の人たちにはない特殊技術(土木技術)を持っていたのだ。恐れられ時には親しまれた彼らの本音が重機音に混じって聞こえてくるようだ。思わず涙を拭いていた。土埃は目に染みる。

## 歴史年表

<b>戦国</b>	太田川と原野谷川は合流しておらず、付近はたびたび洪水に見舞われ大きな池や湿地帯が広がっていた
<b>江戸</b>	伊奈忠次により、太田川と原野谷川を合流させて、遠州灘に注ぐ大工事が行われると同時に、大田堤が築かれる 治山治水を考え、幕府や諸藩は森林の管理を厳格に行なった
<b>明治</b>	江戸幕府による森林の管理が行われなくなったのに加え、西洋の文化が流れ込んだことで木材の需要が急増し、大量伐採が横行し、山は保水できず各地で洪水が起こるようになる
<b>大正</b>	明治43・44年と立て続けに起きた大洪水をきっかけに、太田川・原野谷川の改修工事がはじまる
<b>昭和</b>	太田川・原野谷川で河道改修事業が行われるも、予想を上回る降雨により幾度となく洪水の被害を受ける
<b>平成</b>	抜本的治水対策として、河川改修と合わせてダムによる洪水調節を採択、平成21年太田川ダムが完成する
<b>現在</b>	河川敷での伐木や、河道掘削工事、河川改修を行うなど、治水対策は現在も続いている

# 探してみよう! 太田川水系の魅力。



## 太田川水系一覧

- 1 太田川
- 2 仿備川
- 3 今ノ浦川
- 4 古川
- 5 倉西川
- 6 磐田久保川
- 7 半ノ池川
- 8 安久路川
- 9 旧仿備川
- 10 祝川
- 11 磐田中川
- 12 原野谷川
- 13 蟹田川
- 14 小笠沢川
- 15 法多沢川
- 16 宇刈川
- 17 沖之川
- 18 逆川
- 19 馬込沢川
- 20 垂木川
- 21 家代川
- 22 西山沢川
- 23 東山沢川
- 24 倉真川
- 25 初馬川
- 26 掛川灘ノ谷川
- 27 掛川戸沢川
- 28 神代地川
- 29 海老名川
- 30 西之谷川
- 31 敷地川
- 32 小敷川
- 33 中沢川
- 34 一宮川
- 35 伏間川
- 36 瀬入川
- 37 三倉川
- 38 葛布川
- 39 大府川

## 千手の前



安間美恵子

磐田市西部地区に、傾城塚とよばれる古い墓があります。そこには「千手」という女性がわらわっています。千手は、平安時代、子宝に恵まれなかった静岡市手越の長者夫婦が、千手堂村にある千手観音に祈願して授かった娘です。美しく聡明に育った千手は、源氏の館に仕えるようになり、源頼朝が12人の美女を揃えたという記録には「まず一番には手越の長者が娘千手の前、二番には遠江国、熊野が女の侍従、三番には...とあるほどでした。



▲傾城塚 (れいせいづか)

## 素敵な公園 見つけた



鈴木敦子



▲幻想的なライティング 《写真提供: 栗倉利保氏》

令和四年三月に今之浦公園が大きく姿を変えました。今ノ浦川を挟んで東側エリアと西側エリアに分かれ、川の両岸は歩道橋で結ばれています。特徴的なのは、多目的芝生広場の芝生が広がる先に伸びやかな流線型の円盤のような屋根があること。ふわふわドームや大型複合遊具に井戸水を利用した水遊びの出来るスポットもあって幼い子から楽しめるそうです。でも、何と言っても、大人がほっと出来るような公園です。日が沈みかける頃、流線型の屋根の先の電球に灯りが灯って幻想的です。さて、公園近くの散歩はいかがでしょう。



▲今ノ浦川に向かう男衆



▲米とぎの様子

寒風の中、ふんどし姿の男衆が颯爽と今ノ浦川へと向かう。何が起るのかその後を追う。男衆は小舟に乗って今ノ浦川に漕ぎ出して用意してきた米を川の水で研ぎはじめた。磐田市指定無形民俗文化財「八王子神社とぎまつり」だ。磐田市下では疫病除や災難除を祈願して毎年一月の第二日曜日に行われる。近年の人々は「はちおっつあま」と呼び「お世を借りる」といって神社境内に生えている笹をいただいて帰り家の軒下で吊して疫病除や災難除を願う。コロナ禍でここ数年神事は行われていないが米とぎは中止となっている。

## はちおっつあま



大石佳典



▲展示の前で、熱心にお話をしてくださる館長の山本さん



郷土資料館には、写真やイラスト、細かく作られたジオラマがありました。館長さんの身振り手振りを交えてのお話で、太田川の歴史に対する熱い思いが伝わりました!



▲袋井市郷土資料館にて。展示された多くの資料や館長のお話を通して、地域の歴史、太田川の歴史を深く知ることができました